

「令和5年度総括コーディネーター業務を振り返りと来年度以降の動き」

2023年6月20日付け、群馬県教育委員会健康体育課 総括コーディネーターとして任命されて8ヶ月が過ぎます。国の予算の関係から総括コーディネーターとしては3月8日(金)までとなり、一旦総括コーディネーターとしての役職は区切りとなります。

しかし、この部活動休日地域移行の歩みを止めることはできません。

しばらくの間「NP0 法人新町スポーツクラブ 理事長」として市町村からアドバイスを求められた場合は対応させていただきますので、遠慮なくお声がけください。

わずか8カ月間の活動期間でしたが、ここで令和5年度の活動を振り返ってみます。

【最も充実した活動として】

8月から10月にかけて35市町村を巡回訪問させていただいたことが最も充実した活動でした。コロナ禍で人と接することが減少し、オンライン会議が増加した時を経て、ようやく以前のように対面で意見交換できる年となったことで、群馬県内全ての市町村を巡回訪問して意見交換したいと思い小山指導主事、高岩指導主事とともに巡回させていただきました。

全ての市町村を訪問させていただいたことで、各地域が抱える課題や特徴も理解できて、実はすでに地域移行と同じような活動を行っていることを知ることができました。

市町村の担当者におかけましては、忙しい中ご対応いただけたことに改めて感謝いたします。

【令和6年度以降の部活動休日地域移行について】

現在の国の予算はスポーツ庁 地域スポーツ課から

令和5年度～令和7年度 ⇒ 県教育委員会とスポーツ振興部局主導

今後は「地域と学校が一緒になって」

「休日の学校部活動」を順次「地域クラブ活動」へ移行していくことを推進していきます。

活動する場所は、多くのケースが学校となることから地域と学校が一緒になって地域で地域の青少年達を育む時代となります。

【日本スポーツ少年団 益子直美本部長と萩原智子副本部長の県内視察】

2023年11月29日(水)、益子直美本部長(元バレーボール日本代表)と萩原智子副本部長(元水泳日本代表)が新町のスポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブの活動を視察するために来町しました。新町では、保護者、指導者、大学生、高校生、中学生と意見交換を行いました。

新町の保護者と指導者は、スポーツ少年団団員経験者が多く、持続可能な活動について理解していただきました。また、中学生から大学生との意見交換は、部活動の休日地域移行をテーマにして積極的な意見交換を行いました。

高校生の中には、自分の部活動の悩みを益子本部長へ話している団員もいました。

11月30日(木)は、益子本部長お一人で吉岡町を視察しました。吉岡町町長と教育長から歓迎の言葉を受けて、吉岡町部活動地域移行検討委員会の皆さんと意見交換を行った後、吉岡中学校の柔道部と男女バレーボール部のみなさんと交流しました。



上 新町スポーツクラブ理事・指導者・
保護者・大学生と記念撮影
下 高校生と益子本部長意見交換



上 新町スポーツクラブ 高校生と意見交換
下 新町の中学生と益子本部長意見交換



上 吉岡中学校男子バレー部と記念撮影
下 吉岡中学校女子バレー部と記念撮影



吉岡中学校柔道部と記念撮影